

電 設 新 聞

発行所
 社団法人 電設業協会
 福島県 津波町 9-6
 郵便番号 960
 (福島県電設協会館)
 電話 (0245)33-6226
 編集印刷 福島タイムズ社
 福島市御山字戸上64-5

電気設備
 住宅設備機器
 コーディネーター OKADA

岡田電気産業株式会社

本社 いわき市平谷川瀬字明治町二七
 ☎(0246)251611
 営業所 白河・郡山南・郡山北・会津・原町
 福島・いわき南・他 県外十一カ所

省エネ施工をテーマに

メーカー交えブレインストーミング

技術水準の向上を

第12回中堅技術者研修会

本協会の第十二回中堅技術者研修会が十月二十五、二十六の両日、福島市飯坂町のみのく荘で開催された。技術者の自由討議を重視したブレインストーミングを中心に進められたこの研修会には、会員各社の主任技術者らが出席し、省エネ対策について、メーカーの開発担当者らと意見を交換することも、現場での施工方法を学んだ。

この研修会は、電気設備工事の技術力向上に向けて毎年開催されているもので、各社の中堅技術者を対象に行われている。昨年度からは、講師を招いた座学から技術者同志の自由討議を主体としたブレインストーミングに進め方を変更し、出席者が交流を図りながら考察を深め、最後に発表を行う形式で行われている。今回は、省エネ施工を中心テーマに据え、施工管理・施工体制・現場管理についてブレインストーミングを行った。



國津会長



宗像課長

は、技術集団であり、技術水準の向上と責任施工体制確立が最も重要な課題であり数々の事業を実施している。今日のこの研修会は現場で第一線に立つ現場代理人の資質向上を図り、さらに技術革新に対応したノウハウを学びながら地球にやさしい環境づくりに貢献する方法を考えて参りたい」と述べたのに続き、驚定「品質管理について▽工場検査の場合、検査員と

現場員が内容を事前に打ち合わせる。また、承認図に基づき内容・方法・形状・塗装状況・機能をメーカーとともに確認する。

図面や書類づくりも重要

これらの内容は、全体討議の場で各班のリーダーから発表された。これを受けて正副会長と各技術委員から質問や意見が出されたあと、具土木



菊地主幹

この日のまとめを行った國津会長は「私達は技術集団であり、自らの技術を高めることが至上命題、この中にはお客様とのコミュニケーション



を高めることも含まれる。仕事の良し悪しは現場代理人の資質で決まる。中でも図面や書類作りは中央大手業者と比較されるポイントであり評価を上げてもらえよう努力してほしい」と述べた。

このあと、営繕課の宗像武久課長の講話が行われた。この中で宗像課長は、発注側としても皆さんの提案を受けながらより良い設備の完成に努めたい。また、本田宗一郎氏の言葉を紹介しながら、「仕事上の親切というのは相手を納得させることであり、それによって相手の気持ちも和み信頼感も出てくる。また、技術の前提となる思想が重要だ」と強調した。

翌日は、松下電工と東芝ラ イテックから講師を招いて、省エネルギー対策の推進を課題に二班に別れてブレインストーミングが行われた。この

中では、照明計画と改正された新省エネ基準について説明を受けると共に、省エネ商品を中心に今後の施工法を検討した。

▽使用者に十分な機器の取り扱い方を説明する。
 ③諸問題
 △良い工事を完成するには施工計画を作業員の末端まで把握させる。
 第三班(現場管理)

△協議書につけて収まりの悪いものを提出、その他打ち合わせを行う。
 ①品質管理
 △見えないところは、社内検査を適宜実施する。
 △既製品については、開封すると返品できないので、問屋に確認させる。

△仮設計画はキュービクルや電柱位置に十分注意する。
 △施工中(主な事項)
 △溶接機、電動工具などは搬入前にチェックする。
 △現場の休日、残業について検討する。

△安全を確保する。
 △安全管理
 △TBM・KYTの完全実施と記録を残す。
 △パイプ脚立の使用が見られるので、ステップ付きのものへ改善を望む。
 △安全と利益のギャップを少なくするように要望する。



坂本氏

秋の叙勲と褒章の受章者が

坂本博太郎氏が受章

坂本氏は、いわき市植田町の出身で七十九歳。昭和七年に市立平商業高校を卒業。同二十七年に(株)丸電坂本商店の代表取締役就任。同三十三年には常務取締役代表取締役、同四十二年に常盤電設産業(株)

代表取締役を、さらに平成元年から同社の代表取締役会長を務めているほか、同五十年より(株)電設業協会の代表取締役。同五十七年(五十七年)相談役(六十年)を努めている。

昭和五十年に知事表彰(産業功労者)、同五十五年にはいわき市長より自治功労者表彰を受けた。

本協会は今年度、ふくしま国体募金に二百万円を寄付した。これに対する感謝状の贈呈式が十月二十二日、県国体局長室で行われた。

式には國津会長、松崎勲副会長らが出席し、石井定國国体局長からは感謝状と国体のシンボルマークが入った記念バナーが手渡された。

石井国体局長から感謝状を受ける会長ら

県から感謝状受ける
 国体募金への寄付で

National 松下電工



電線地中化に対応した新しい都市環境照明です。

- 道路照明、信号、交通標識を一体化。
- 電線地中化事業(CABシステム)に対応。
- 街並みの美化、都市景観向上へ貢献。

ナショナル多目的ポール照明

お問い合わせは (〒963)郡山市朝日2丁目5-15松下電工・福島営業所 ☎(0249)39-7731



快適を科学します

信頼される建設業へ

第9回建設雇用改善大会

建設関係者ら百八十人が出席して福島県建設雇用改善推進協議会が十一月十九日、福島市のサンスカイつちゆで開催された。

谷建設工業、菅野建設、共栄建設工業など雇用改善に功労のあった企業と個人に表彰状を贈った。続いて表彰に移り、滝

この催しは(志賀久太郎会長)の主催、県、雇用促進事業団、(志賀久太郎会長)の主催、建設産業団体連合会、建設共済支部の協賛によるもので今年で九回目を迎える。

はじめに挨拶に立った志賀会長は「景気対策が叫ばれる中、公共事業の推進を担う私たち建設産業の果たすべき役割は大きくなった。地域に信頼される業界づくりの一環として冷害で多大の被害を受けた農家の就労者を積極的に雇用するよう申し合わせを行ったところであり、今後も使命達成のため努力を続けたい。協会としては、工業高校生を対象にした建設現場見学会並びに現場実習、安全快適な職場環境づくりに取り組んで行



サンスカイつちゆで開かれた大会

7年間に25%抑制 ごみ減量化推進計画 最終処分場が課題

一般廃棄物対策として本県で初めての指針となる「ごみ減量化・再生利用推進計画」の骨子が十二月一日、福島市で開かれた県ごみ減量化・再生利用推進協議会で承認された。

このままのペースで行くと平成十二年度には県全体のこ

みの量が平成三年度の発生量を基準とすると、三・一・六%の増加となる予測も出されており、大きな問題となっている。推進計画では、来年度から七年間にごみの量を二五%抑制し、七五万六〇〇一トの水準以下に抑えるのが目標。

そこで問題となるのが最終処分場の確保。現在の残存容量はあと四年弱で満杯になるといわれており新規処分場の確保が避けて通れない課題だ。県では現在、いわき産業廃棄物処理センターの拡張と県中地区最終処分場建設を計画しているが、まだ不十分であることから、来年度から市町村と一体となった対策を検討する。

技術委員会の事業として計画されたこの日の催しには、国津会長をはじめ、協会本部及び各支部の技術委員らが参加し、工事関係者から説明を受けながら現場内を見学した。

来賓を代表して川手晃県商工労働部長、猪狩健次郎雇用促進事業団施設建設部長らが

祝辞を述べた後、さる八月にCIを導入した会津土建の菅家洋一社長が「わが社における雇用改善の取り組みについて」と題して事例発表を行った。この中で菅氏は、企業理念を構築し、社員とともに進めているCI活動を紹介するとともに、社員の家族にも理解してもらえ企業、地域のオビニオンリーダーたる

経営の姿について、これまでの取り組みを交えながら紹介した。

休憩をはさんで、公立藤田総合病院の朽木渉副委員長が、「建設業に働く人々の健康増進」と題した講演を行った。最後に今年度の雇用改善の奮いとしての安全・快適・豊かさをキーワードとして自覚を新たに更に努力すること

②建設労働者の福祉充実に向けて、法定福利制度への加入、建設労災補償制度・厚生年金基金・建退共制度等法定外福利制度についても加入を促進する③経済振興、雇用安定、災害から生命財産を守る等地域との密接な関わりを通じ、建設産業への理解・信頼の増進を図ることを探検した。

管理等について説明を受けた。

建設業審議会設置など

県の12月補正予算案

県は十二月定例議会で提出する補正予算の概要を発表した。今回の補正では農業災害対策を中心とした景気対策費が中心で、総額百三十二億六千万円、本年度予算の累計は九千六百億円となり、前年度同期比で四・二%の増となった。また、設備団体系から要望が出されていた県立工業高校に建築設備関係学科設置についても本決まりとなり一千四百八十七万円(設計委託・地質調査費)が計上された。

主な内容としては、農業災害対策として農業改善事業や公共施設被害地域への重点投資等を図るため六十三億九千九百万円、国の緊急経済対策に対応した景気対策として道路などの公共事業の推進や高等学校の施設整備、さらに県単独事業としての歩道の段差解消などを柱とする高齢者、障害者等にやさしい道づくりを進めるため、特別会計分を含めて八十九億三千九百万円が計上されている。

建設業関係では、県空調衛生工業事業協会など設備団体系中心に陳情し、県建設産業団体連合会の要望にも盛り込まれていた県立工業高校に建築設備の基礎を学ぶ専門学科設置にも予算が計上され、郡山北工業高校に「環境システム科」開設に向け、実習棟の設

計委託費が盛り込まれた。また、中央建設業審議会の本県版とも言える「建設業審議会」運営費が計上されている。同審議会は、学識経験者などで構成される予定で、今後の入札制度について検討する知事の諮問機関となる。

成五年度現場パトロールを実施し、福島市内の六現場を回った。

同支部の技術委員と福島市役所から池田伸男建築課課長補佐ら、合わせて約三十名が参加した。一行は北信支所・北信公民館を皮切りに総合体育館、佐原小学校、渡利ふれあいセンター、公営住宅大豆塚団地、青少年教育宿泊研修施設などを見て回り、各現場の関係者から工事の進捗状況や電気設備の特徴、安全衛生

市内6カ所を回る 福島支部 現場パトロール実施

本協会福島支部(高橋武支部長)は十一月二十九日、平

このうち、福島市総合体育館では、電気設備を施工している支部会員企業の現場代理人から施設の特徴等について説明を受けたあと、現場に入り担当者から説明を受けた。

同支部では、定期的に福島市役所と連携してこのパトロールを実施している。

同支部では、定期的に福島市役所と連携してこのパトロールを実施している。

本協会チームが優勝 第13回親善野球大会

福島タイムズ社主催の第十

チームと空衛協・管工事チームの二チームが駒を進め、石川、二階堂両投手の投げ合いで最終回までゼロ行進が続

り最優秀選手賞の他に準優勝チームから優秀選手賞を選出、それぞれ石川晃行・二階堂仁両投手が選ばれた。

社会のニーズに応え
省エネに貢献する..... **Aichi**

各種トランスの **受知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元)
受知電機商事(株) 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇

三菱電機販売会社
東北三菱電機商品販売株式会社

福島支店 TEL(0245)34-7121
郡山支店 TEL(0249)59-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

TAKAOKA

フル容量で、フルラインアップ

無停電電源装置
グリーンUPS
●グリーンUPS 3KV

■低損失形変圧器
■課電表示器
■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備

コンピュータシステムのニーズに応える

株式会社 高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

Koito
安全と快適を求めて

安全への
トータルシステム

- 道路情報表示システム
- 道路気象観測システム
- トンネル防災システム
- 交通管制システム
- 交通信号機
- 街路・広場・スポーツ照明

小系工業株式会社
仙台支店 〒980 仙台市青葉区国分町2丁目2番5号(柴崎ビル) ☎022(225)7501

原町市馬事公苑建設14工区

第8回工事施工体験発表会より

47社が参加した建設工事



旭電気工事 (株) 専務取締役 渡部 昌彦氏

原町市馬事公苑は、原町市が平成七年福島国体の馬術競技場として、市の中心部より西側へ約七ヶ所の場所に建設がはじまりました。

平成二年度は、場内造成、馬場走路路、厩舎建築等で、平成三年度も場内造成、馬場走路路と駐車場舗装、馬場施設、植栽施設、覆馬場、浄化槽等の建築及び場内機械設備、場内電気設備とそれぞれ工事が進められてきました。

私は、平成四年度工事の場内電気設備工事について発表します。なお、この工事の総工事費(三カ年)は、二十三億四千七百五十三万三千六百元となっております。また、この工事に参加した業者はのべ四十七社(JVは一社とします)です。

工工程度 工程進度を振り返ってみみると、九月十日と他工区との取り合いがあり、ハイペースで掘削埋設配管を進めまし

施工計画と管理 施工計画は、設計図書に基づいて、各設備がその機能・特性を完全に発揮するように最善の注意を払って施工致し

現場構内、周辺及び作業周辺の美化のため、喫煙などは休憩所内とし、また、飲料水等の空カン・空ビン等は現場

た。また、施工チェックは、チェックシート等により社内検査にて確認し、その結果に基づき、社内検査報告書を作成し監督員に提出致しました。

自主検査は、自主検査組織により工事の中間及び完成時に実施し、検査報告書を作成して監督員に提出致しました。

仮設計画と管理 本工事施工にあたり、作業員の安全、及び健康管理等のために休憩所を設置致しました。休憩所は、スパーハウ

その結果、掘削埋設配管時は、私も電工と土木業者の手を借りまして、二班にて工事を進め、総掘削距離二、五〇〇mの約九〇%を完了することができ、他工区との支障にならないことがありませんでした。

また、九月、十月と好天に恵まれたこともありまして、なお一層順調に工事が進ましました。

この工事は、平成七年福島国体の馬術競技の会場となり、三カ年の工期とのべ四十七社の施工で、工程管理に苦労されたと感じました。施工の内訳はケーブル線の通線が主であり、屋外工事でもあり天候が気になったことなど思い、工程管理においても先行できるところは優先的に施工し、好天に恵まれたこと

た。十一月、十二月には主にハンドホール内部の仕上げ工事が中心となり、また、施工体制の中地みもあり工程進度が遅くなりました。

一月、二月は、前月までの好天から一転して降雨の多い悪天候になり、作業に支障が生まれ、工程進度が予定工程より遅れはじめてました。三月は天候がやや回復し、まずまずの天候になり、ラストスパートをかけ無事に無災害で工期内に全作業を完了することができました。

掘削埋設の多さに驚き 掘削埋設の多さについて、掘削埋設の多いことに驚きの感じたのが本心です。

掘削埋設について 当初より道路の舗装や駐車場の舗装、並びに緑地帯の植栽工事とに工期的な取り合いの問題があり、第一回の全体打ち合わせにて、十月末までに掘削を完了してほしいと他工区からの要望がありました。市の監督員を交えて話し合い、その結果、私共の工事を優先的に行うことで決着しました。

度、多幸苦の責任者の方や職人の方々や打ち合わせをし、また、雑談等もして人と人の触れ合いを感じながら、そして、この現場にいらしているみんながそれぞれ負った仕事の一つのものが完成しようという意気込みが感じられ、時には緊張感ももったり、時にはお互い協力し助け合いもしました。このような数多くの工区の中で、一つの工区として仕事が出来たことは、大変勉強にもなり、有意義な体験だったと思います。

最後に、監督員並びに原町市国体事務局の皆様のお力添えに感謝致します。

菊地 由和
果土木部 管轄課 主任 兼 課長補佐

工作物等の規模及び構造		
車庫内電盤	屋外露山型防水型鋼板製	1面
観覧席コンセント盤	屋外自立防水型鋼板製	6面
高精度太陽電池時計	両面型 800* ボールコールドテン ラジオコントロール付 G.L.H, 4.5m 基礎(600* × 1,300*)	1基
外灯照明	モールライト ボールコールドテン ランプHF100w × 2 安定器200v 直列定電圧型(2個) G.L.H, 4.5m 基礎(600* × 1,300*)	6基
電話回線引込柱	コンクリートポール 10m-19cm-350Kg 支線	1本 1式
ハンドホール	コンクリート製 ブロック式 内訳 600* × 600* × 900* 600* 種別-1 11基 600* × 600* × 900* 600* 種別-1 12基 900* × 900* × 900* 600* 種別-2 6基 900* × 900* × 900* 600* 種別-2 9基 (セル-3(PVC5t)付)	38基
使用電線管	FEP管 30*, 40*, 50*, 65*, 80*, 100*	
使用ケーブル電線	CVTケーブル線, FPC耐火ケーブル線 MAZVCVケーブル線, CVケーブル線 CVVSケーブル線, CCPケーブル線 同軸ケーブル線(S-7C-FB)	
総掘削距離	約2,500m	
用途	馬術競技場	

土木工事等で使用した材料		
総掘削距離	約2,500m	
総掘削土量	約1,400m ³	
総山砂量	約740m ³	
総コンクリート量	約7m ³	
電線管	FEP 30* 1,735m FEP 40* 120m FEP 50* 1,480m FEP 65* 390m FEP 80* 100m FEP100* 1,560m	
電線	MAZVCV100 ^φ -3c 70m MAZVCV 60 ^φ -3c 125m MAZVCV 60 ^φ -2c 220m MAZVCV 5.5 ^φ -2c 170m MAZVCV 3.5 ^φ -3c 560m CVT200 ^φ 360m CVT150 ^φ 120m CVT100 ^φ 310m CVT 60 ^φ 140m CVT 38 ^φ 210m CVT 22 ^φ 250m CV 38 ^φ -2c 185m CV 14 ^φ -3c 200m CV 14 ^φ -2c 490m CV 3.5 ^φ -2c 205m CVVS2 ^φ -5c 205m CVVS2 ^φ -2c 185m FPC22 ^φ -3c 230m CCP0.65mm-10P 470m S-7C-FB 165m よび線 1.2mmビニル被覆鉄線 1,980m 埋設標示シート W=30cm 2,500m 埋設標示杭 コンクリート製 47本 ピン製 16本	

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市泉字南谷地5-6 ☎(0245)57-2177

福島事業所 福島市泉字南谷地5-6 ☎(0245)57-2161

原町事業所 原町市高見町2-106-5 ☎(0244)22-3568

郡山事業所 郡山市富久山町久保田字田池7-1 ☎(0249)32-6054

白河事業所 白河市東三坂山2-47 ☎(0248)22-6066

いわき事業所 いわき市平字梅香町8-6 ☎(0246)23-8815

若松事業所 会津若松市北町大字上荒田字村北10 ☎(0242)32-3350

湯ったり、あったか 電気温水器

電気温水器 **わくわく** 10/1 ~ 12/31 **キャンペーン**

電気温水器設置工事費割引セール 実施中!

(小型電気温水器設置等のお客さまは除かせていただきます。)

☎ 東北電力 お問合わせはお近くの東北電力事業所へお気軽にどうぞ。

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市若林区土樋97 TEL(022)225-7511(代)

■ 福島営業所 福島市南三丁目桜町3丁目12-3 ☎(0245)53-8519(代)

■ 郡山営業所 郡山市大槻下町東52 ☎(0249)61-6667(代)

■ いわき営業所 いわき市好間町下好間鬼越47-1 ☎(0246)36-5533(代)

■ 原町営業所 原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)

■ 相馬営業所 相馬市種木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)

National/Panasonic

映像・音声システム機器の
プランニング のお問い合わせは…

東北松下システム株式会社

郡山市図景二丁目1番11号 TEL(0249)23-1710

松下電器産業株式会社 システム営業本部 東北支店
仙台市青葉区国分町3-1-11 TEL(022)223-5111

TOSHIBA 新しい技術信頼のあかり

一東芝インバーター器具・WIDE配線器具一

東芝ライテック株式会社

東北支店 郡山営業所
〒963 郡山市桑野四丁目2番地2号
TEL(0249)22-5511~4

春と秋、夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。

ツインアーク

1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの
2つの発光管を収めた2光色発光形HIDランプ「ツインアーク」誕生

EYE 岩崎電気株式会社

郡山営業所 ☎(0249)61-2292 FAX61-2265
いわき事務所 ☎(0246)23-1386 FAX23-3716

支部だより

福島支部

現場パトロール
福島支部では、福島市発注の平成五年度現場パトロールをさる十一月二十九日に行いました。

技術委員会を中心に、代表者及び、現場代理人ら技術者など約三十名参加のもと午前九時から六現場をパトロールして来ました。市より池田課長補佐を中心に五名の参加を頂き有意義に終了いたしました。経過及び結果につきましては、後日行われますが、中でもないにより「安全」が最優先と言った池田課長補佐の言葉のもと、完成した建物から始まり市の考え方、これから高い目標をお互いに確認し合って無事終了致しました。技術委員会の皆様には大変ご苦勞様でした。

「まとめ方もよろしくお願ひ致します。」

相双支部

建築関係団体懇談会
去る十一月十六日午後一時三十分から建設業協会相馬支部会議室に於いて、第二回代表者会議が開催される事になりました。始めに原町建設事務所次長兼建築課長の内山佳弘氏に挨拶をいただき、次に相馬建設業協会相双連絡協議会会長坂本淳氏、相馬建設業協会建築部会副部長の関野啓氏の順に行われた。同日の議題は①新入札制度についての建設労働災害の防止について②建設産業をとりまく諸問題と今後の課題について③その他の議題でありました。

①については、技術評価型意向確認方式指名競争入札制の技術者の役割を徹底することになったと言えよう。

その中で、工事施工管理組織、綿密なる工程計画の作成、

郡山支部

九州旅行へ
十月一日、澄みきった青空に向かって、私達郡山支部会員十六名は、機上の人となり

白河支部

研修旅行を実施
今年も師走となり、景気も回復しないまま過ぎようとしていきます。

さる十一月十八日(木)、協会現場研修が、白河地区の矢吹しらうめ荘整備事業現場で行われ、県内各地よりおいでいただき無事終了することができました。誠にありがとうございました。

また、今年の支部研修旅行を北海道三泊四日で実施し、

技術研修行

福島空港発で道東にいった一日目は、北海道の屋根とウエーイで登り、北海道の雄大な雪景を満喫し、二日目は、クッチャロ湖、猿払原野、日本最北端、宗谷岬、快晴に恵まれ、サハリンと元連のレーダーまで、肉眼で見えて北の脅威を感ぜさせられました。三日目は、サロベツ原野、小平町旧花田家番屋、鎌番屋、昭和四十六年に解体復元し、重要文化財の指定を受け、建物(二七五坪)にヤ

いわき支部

技術研修行
国内市場経済が低迷している昨今、米作に期待を傾けた農家も冷夏の為に不作に終わり、最後の願いとも言うべき漁業のサンマも大漁続きで値下がりし、漁期を一ヶ月も残して終了した。今年はず・不作・不漁と総てが不運の年で終わりを遂げた。

我々協会支部も、企業の設備投資に伴う大型工事のみならず公共工事でも年度内は過ぎせるでしょうが、新年からが心配です。

去る十月二十日、いわき建設事務所菅原次長以下建設、電気設備の各技術員との今年初めての研修会を開き、前年度の工事検査結果の報告

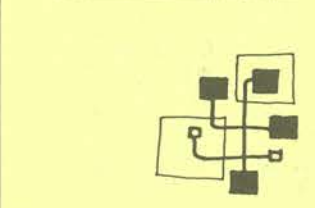
関係者200人が参加

福島空港国際化シンポジウム
県、福島空港利用促進協議会などが主催する「福島空港国際化シンポジウム」が十一月二十二日、福島市のパルセ飯坂に県や自治体の関係者、県内各産業界の代表者二百人が出席し行われた。

はじめに、佐藤栄久知事が「空港を国際化することに、地域社会の活性化を図りたい」とあいさつした。このシンポジウムには、国際化の推進、高規格道路整備による小浜港などの物流拠点との連絡強化、美しい景観づくり等を求める意見が出された。

この催しは、福島空港の今後の整備方向を検討し、空港の持つ可能性を広くPRすることを目的に行われたもので、貴重な提言が多く成功裏に終了した。

協会のうごき



- 10月
- 13日▽福島支部技術研修会 (参事)福島グリーンパレス
- 20日▽いわき支部技術懇談会 (会長、参事)山水
- 22日▽第4回総務委員会 電協会館
- 23日▽福島タイムズ親善野球大会 松川野球場
- 25、26日▽第12回中堅技術者研修会(みちのく荘)
- 29日▽福島県建設生産システム協議会(参事)建設センター
- 11月
- 1日▽自民党県連との懇談会 (会長)自民党会館
- 18日▽現場研修会(会長外)しらうめ荘
- 19日▽建設雇用改善推進会議(参事)サンスカイつちゆ
- 22日▽福島空港国際化シンポジウム(参事)パルセ飯坂
- 24日▽第1回役員会 いわき市
- 30日▽福島タイムズ座談会 (会長)平安閣

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人 **東北電気管理技術者協会**

福島県支部 郡山市富田町西原44-3 ☎(0249)33-8706

福島電気管理センター 福島市笹谷松水37-4 ☎(0245)57-5877

いわき電気管理センター いわき市内郷高坂町桜井93-189 ☎(0246)26-4127

若松電気管理センター 会津若松市日新町1-39 ☎(0242)28-7848

原町電気管理センター 原町市国見町二丁目51-3 ☎(0244)22-3074

郡山電気管理センター 郡山市富田町西原44-3 ☎(0249)33-8706

事業本部：仙台市青葉区花京院二丁目1-11フレシヤール仙台ビル

配分電盤専門メーカー

営業品目
屋内外キュービクル・高圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

株式会社福陽電機製作所

福島市天神町10番41号
TEL0245-34-1528 FAX0245-33-8590

責任分界点・工場構内分岐点の区分開閉器に!

過電流ロック形
高圧気中負荷開閉器
7200V 100・200・300・400A
KLT-L形

株式会社 戸上電機製作所

〒980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル
仙台営業所 ☎022(261)2261 Fax022-261-2263

配電盤専門メーカー

株式会社 古川電気工業株式会社

代表取締役社長 茂泉 嘉佐

本社 仙台市宮城野区扇町2丁目10 TEL(022)236-3327代983

工場 仙台市宮城野区扇町2丁目10 TEL(022)236-6317代983

支店営業所 東京、仙台、盛岡、青森、秋田、札幌

郡山営業所 福島県郡山市若菜町11-23 TEL(0249)34-0859代963

所長 松田 貴充

高圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

株式会社山形電機製作所

福島営業所 所長 高橋 実

福島市大森字宮ノ前55-14 〒960-11
TEL(0245)46-1321 FAX(0245)46-1322

支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

技術開発で産業界に貢献する…

◆設計製造品目◆
屋内外キュービクル・高圧配電盤・自動制御盤
非常用配電盤・計装盤・分電盤・其の他

信頼と技術で築く

株式会社 三陽電機製作所

本社・工場/〒971 福島県いわき市小名浜大原字丁新地194番地の1
TEL0246-52-0034代 FAX52-0134